講　演　会

大都市郊外の家族・コミュニティ変容と〈弱い専門システム〉

── コミュニティ・カフェは何故つくられたのか

講師：大江守之　教授（慶應義塾大学総合政策学部）

日時：2008 年 12 月 9 日（火）　午後 6:30～8:00

場所：明治学院大学　白金校舎　2 号館 2302 教室

主催：明治学院大学 社会学部付属研究所（調査・研究部門）

戦後日本の家族システムの変容に伴い、郊外地域では市場的・行政的解決の難しい問題が出現している。新しい「協働的解決」の枠組みを提示するとともに、問題解決への視座を示す。

『大都市郊外の変容と「協働」── 〈弱い専門システム〉の構築に向けて』書籍帯より

［大江守之教授プロフィール］

慶應義塾大学　総合政策学部教授
1975 年、東京大学理学部卒業。1977 年、同大学工学部卒業。
国立社会保障・人口問題研究所、人口構造研究部長を経て 1997 年より現職。博士（工学）。
著書に『大都市郊外の変容と「協働」── 〈弱い専門システム〉の構築に向けて』（編著、慶應義塾大学出版会、2008 年）、『総合政策学 ── 問題発見・解決の方法と実践』（編著、慶應義塾大学出版会、2006 年）などがある。

［講演要旨］

戦後日本の家族システムの変容を背景として、これまでになかった広義の当事者間の相互自立支援を中心的に組み立てられる支援システムとしての「協働」が求められている。大江教授は、「協働」の実現とは、「弱い専門システム」の構築にほかならないと指摘し、従来型の専門システムである「強い専門システム」ではなく、強い専門システムと当事者の間にあって、当事者自身による問題解決を支援する「弱い専門システム」という斬新なシステムの構築を提唱している。弱い専門システムの具体例として、「コミュニティ・カフェ」（横浜市戸塚区ドリームハイツ「ふらっとステーション・ドリーム」）の活動をご紹介いただく予定である。

参加条件：事前受付不要。参加費無料。興味のある方はどなたでもご参加いただけます。

問い合わせ先：明治学院大学　社会学部付属研究所　Tel: 03 (5421) 5204（平日 10:00~18:00）
Email: issw@soc.meijigakuin.ac.jp